

宗方校区 避難所機能確保

要望

宗方小学校体育館(避難所)の機能確保について

【発行者】
防災まちづくり活動を展開する
特定非営利活動法人
EPP

1. 調査結果について

日時：令和8年7月31日(金)9時30分～

場所：松が丘公民館

出席者：大分市防災危機管理課2名、宗方校区防災士協議会2名、NPO 法人 EPP 1 名

1. 大分市防災危機管理課からの回答

- ・大分県が実施した基礎調査の結果、避難所に指定されている宗方小学校の体育館は、**土砂災害警戒区域のイエローゾーンになる**ことが判明した。
- ・体育館そのものは、基礎もしっかりしており、土砂崩れが起きても直ちに体育館全体に被害が及ぶとは考えにくい。
- ・但し、のり面工事をして、土砂災害警戒区域のイエローゾーンは解除されないため、**レベル4(土砂災害危険警報)以上の場合、避難所として使用できず**、宗方小学校の校舎に移動する必要がある。

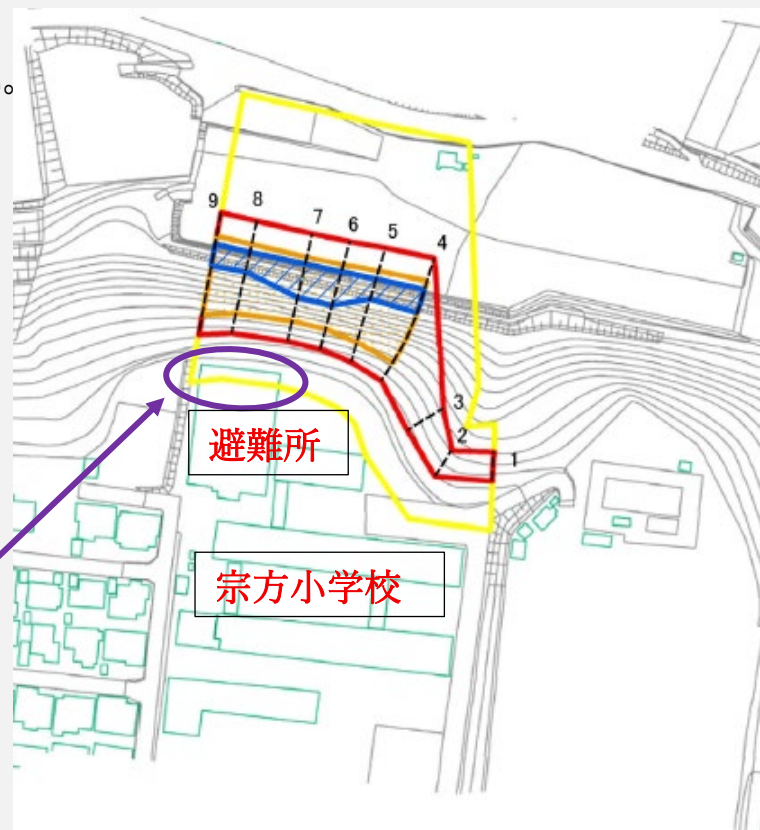
2. 宗方校区自主防災会の要望

- ・早急に対策工を実施してほしい。
- ・避難所としての利用を考えて、**土砂災害警戒区域が解除される工法を取ってほしい。**

3. NPO 法人 EPP からの提案

- ・これまでの経緯から、当法人と自主防災組織と共同で、**再度要望書を提出**しましょう。

- ◎避難所(体育館)の一部が、土砂災害警戒区域のイエローゾーンに入る。
- ◎宗方小学校の校舎は、土砂災害警戒区域には該当しない。
- ◎がけ地の下側は、墓地の管理事務所があるものの、民家等はない。



2. 現地の状況について

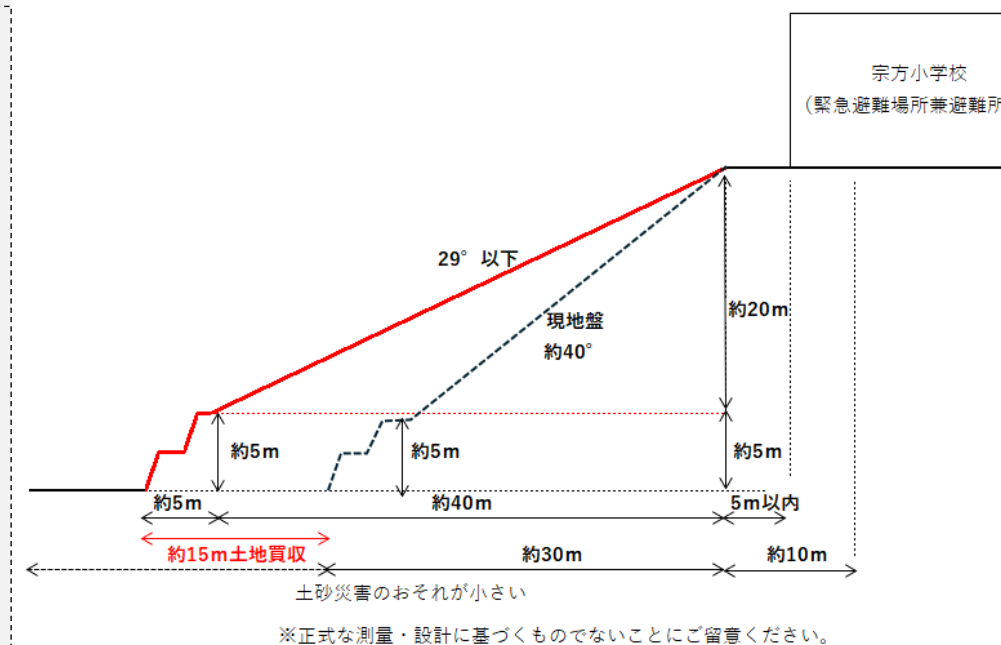


令和8年8月18日撮影

- ◎**斜面(崖地)は**、木や草に覆われており、詳細は不明だが、**崩壊の可能性が懸念される。**
- ◎下端部は簡易な小段が2段ある。
- ◎**がけ地の下側は**、平坦となっており、**現時点での利用はない。**
- ◎写真の左奥は既に墓地として利用されており、徐々に範囲を広げている。
- ◎がけ地の上側は、高木があり、そのすぐ先に避難所である体育館がある。

3. のり面対策(案)について

- ◎現地盤の改良(法枠工、吹き付工、アンカー工)のみでは、傾斜角・高さに変更がなく、土砂災害警戒区域の解除に繋がらない。
- ◎約15mの土地買収を行い、**傾斜角を30度未満とすることで、土砂災害警戒区域解除の可能性**がある。
- ◎その上で適切な、擁壁工や法枠工などの実施が必要



4. 今後の対応について

宗方校区の主要避難所である体育館が土砂災害警戒区域に指定されたことにより、**災害時の避難所運営に支障が生じる可能性がある。**

このため、地域住民の安全・安心を確保するとともに、避難所機能を維持する観点から、**恒久的な対策について早期に検討されることを要望します。**

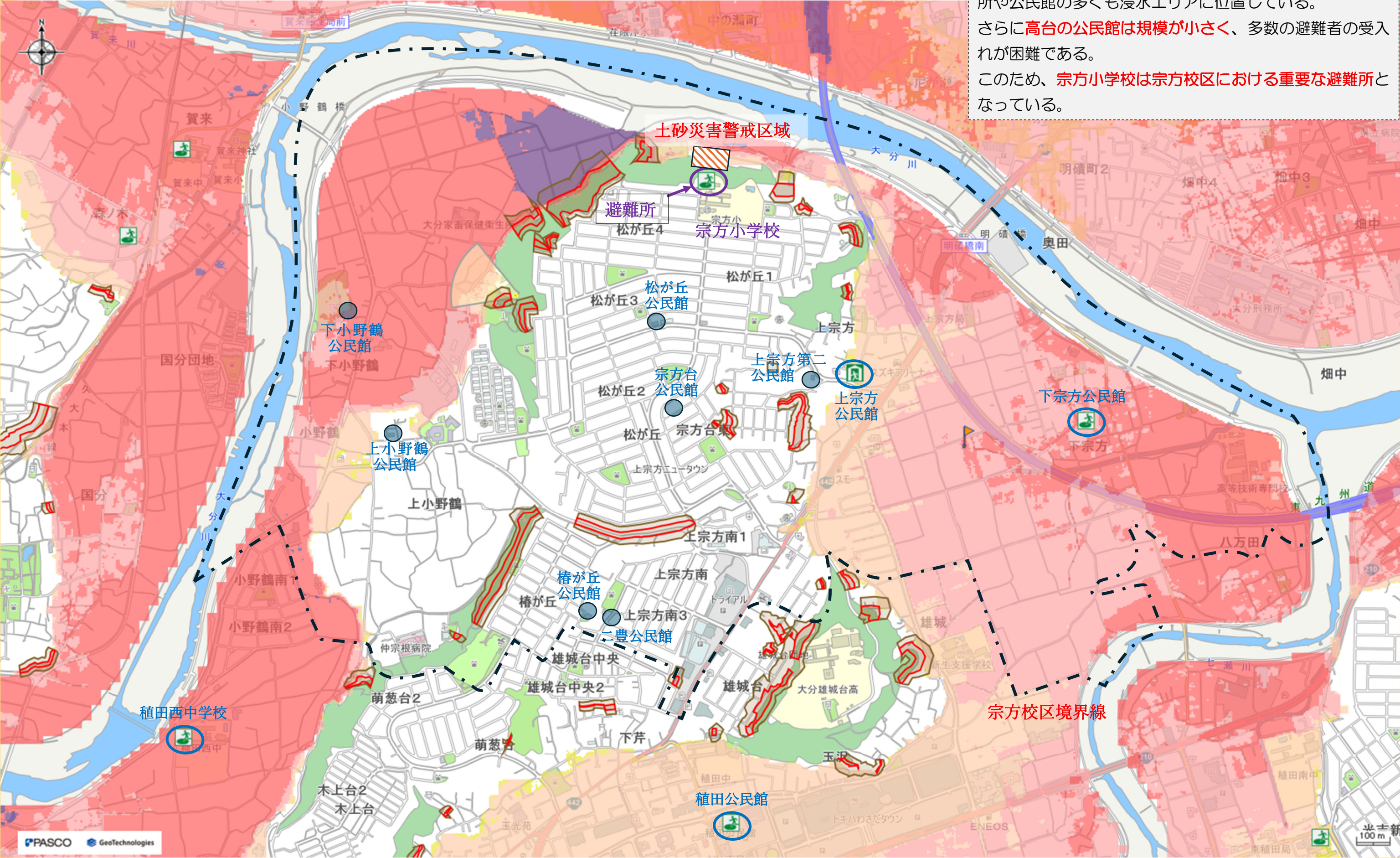
★私ども EPP のメンバーは、災害予防の推進、防災コミュニティの形成による防災まちづくり活動を進めています。お問合せ等ございましたらお気軽にご連絡ください。

特定非営利活動法人 EPP

〒870-1159 大分市宗方台北13-1 ☎097-507-2675 t-yamaguchi@epp.or.jp

宗方校区周辺 ハザードマップおよび避難所の位置等の情報

宗方校区は広範囲が浸水想定区域となっており、他の避難所や公民館の多くも浸水エリアに位置している。
さらに高台の公民館は規模が小さく、多数の避難者の受入れが困難である。
このため、宗方小学校は宗方校区における重要な避難所となっている。



★私ども EPP のメンバーは、災害予防の推進、防災コミュニティの形成による防災まちづくり活動を進めています。お問合せ等ございましたらお気軽にご連絡ください。
特定非営利活動法人 **EPP** 〒870-1159 大分市宗方台北13-1 ☎097-507-2675 t-yamaguchi@epp.or.jp